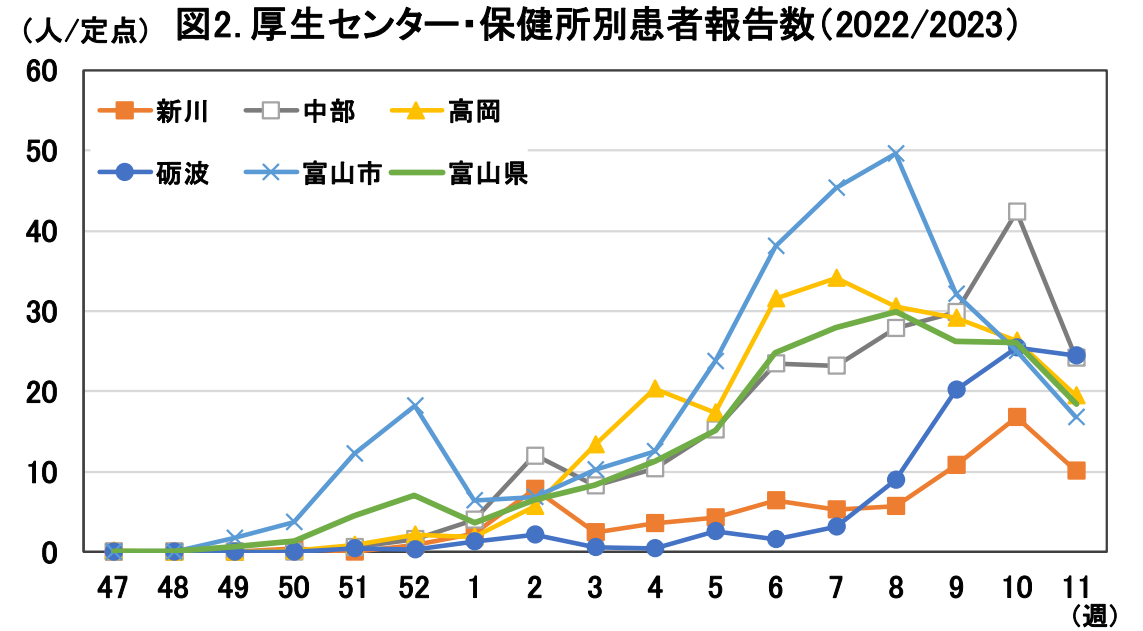
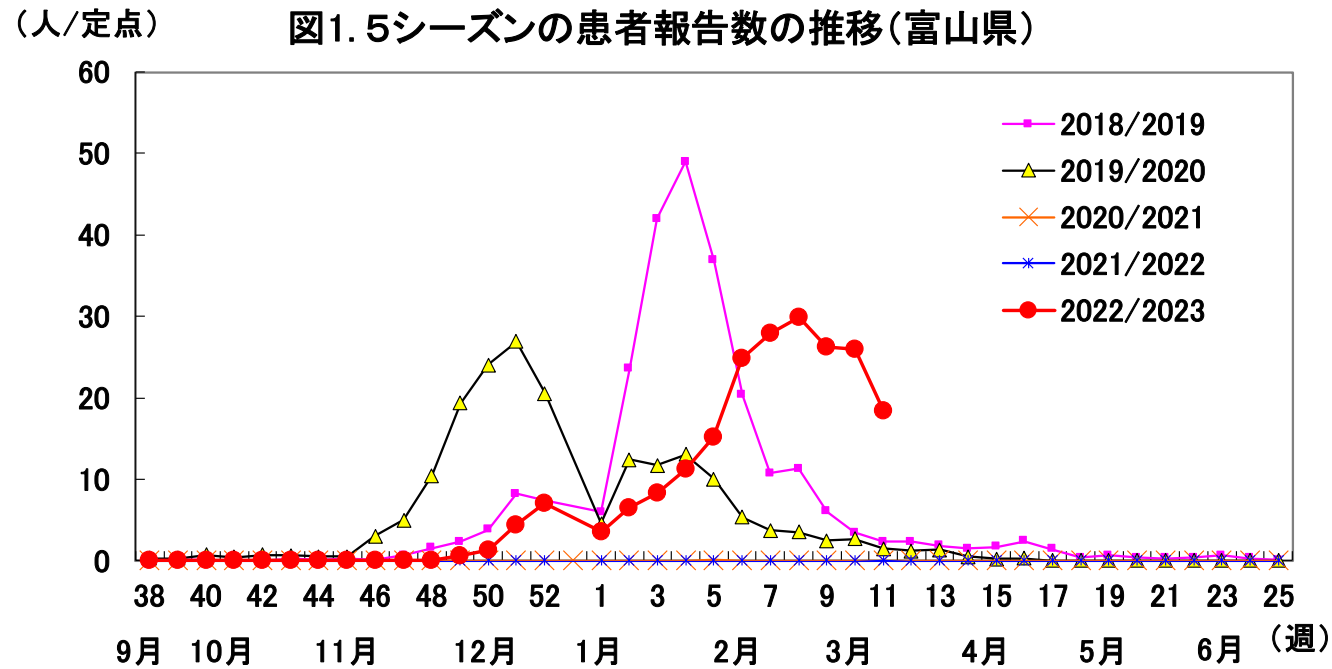


インフルエンザの発生状況(富山県)

【第11週(2023/3/13~3/19) 感染症発生動向調査速報値 (2023/3/22時点)】



- 今週の報告数は18.42人/定点となり、第8週 (29.85人/定点) をピークに減少傾向が続いている (図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、先週まで増加傾向であった新川、中部、砺波管内を含め、全ての管内で報告数が減少した。

図3. 年代別割合(富山県、第11週)

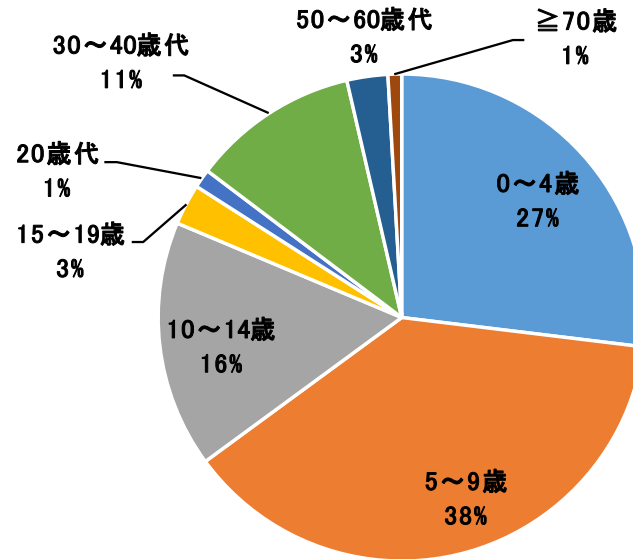
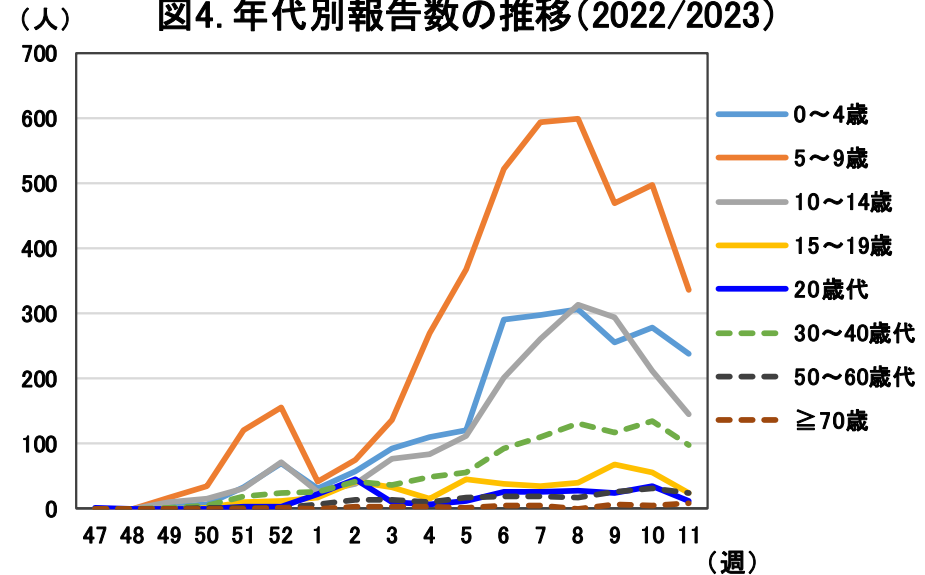


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第11週の年代別割合(図3)では、15歳未満の小児が81%を占めた。一方、50歳以上の症例は少ない状況が続いている。
- 年代別報告数の推移(図4)では、70歳以上を除く全ての年代で報告数が減少していた。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は第11週に、小学校12件、中学校1件、その他2件の計15件報告された。報告数は先週(16件)と同程度であり、引き続き小学校を中心に感染が継続していると考えられる。

富山県HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

富山県感染症情報センターHP : <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第10週)

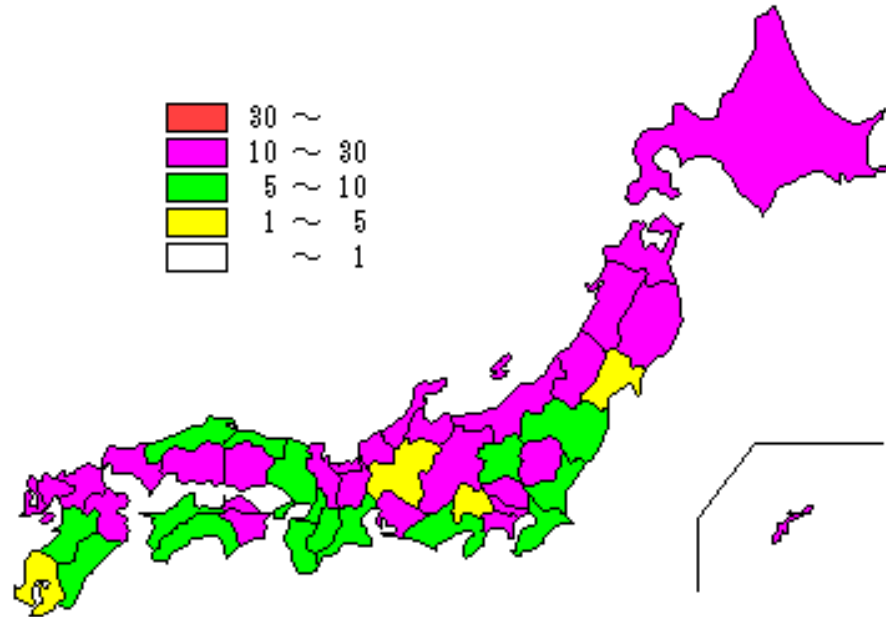
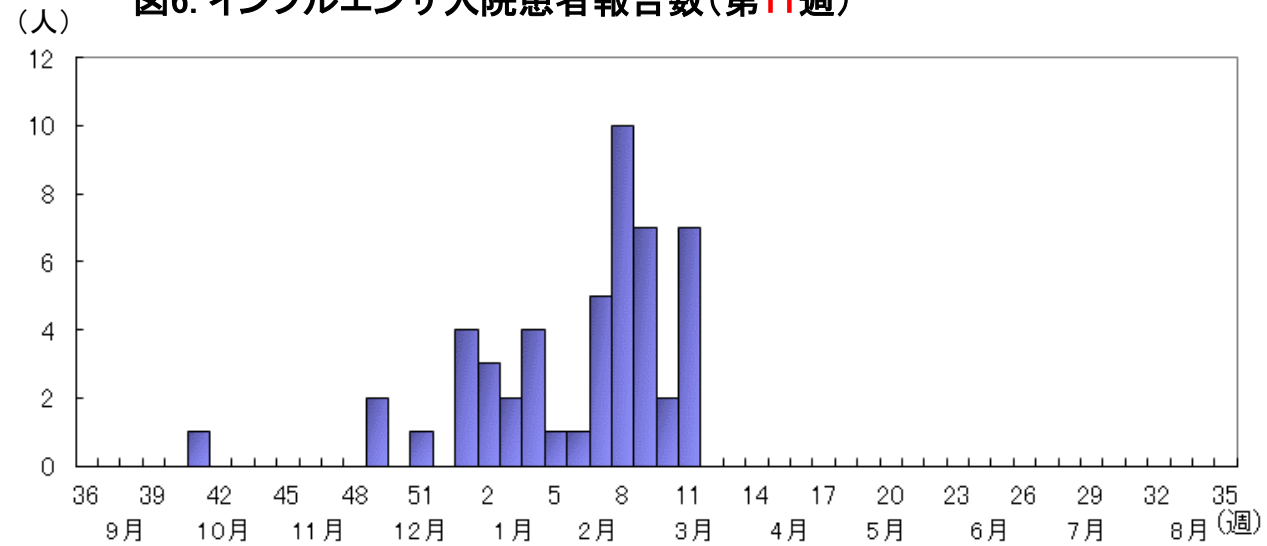


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第11週)



- 全国の定点あたり報告数は第10週に11.10人/定点となり、前週（10.17）よりやや増加した。なお、都道府県別（図5）では27都道府県で注意報レベルの10人/定点を超えている。警報レベルの30人/定点を超える都道府県はなかった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第11週に7例（小児4例、70歳以上3例）の報告があった。